

## 第1回 天草市まち・ひと・しごと創生本部 会議録（概略版）

日 時	平成27年4月16日（木）庁議終了後～
場 所	本庁2階 庁議室
出席者	市長、副市長、総務部長、総合政策部長、地域振興部長、健康福祉部長、市民生活部長、経済部長、観光文化部長、建設部長、水道局長、病院事業部長、会計管理者、教育部長、牛深支所長、有明支所長、御所浦支所長、倉岳支所長、栖本支所長、新和支所長、五和支所長、天草支所長、河浦支所長 【事務局】総合政策部政策企画課
会議内容	(1) 天草市まち・ひと・しごと創生の概要について (2) あまくさ創生実践会議の設置について
資 料	・「天草市まち・ひと・しごと創生概要」P6～10 ・別添資料1「あまくさ創生実践会議設置要綱（案）」 ・別添資料2「まち・ひと・しごと創生法」 ・別添資料3「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（概要）」 ・別添資料4「まち・ひと・しごと創生総合戦略（概要）」 ・別添資料5「まち・ひと・しごと創生「長期ビジョン」と「総合戦略」の全体像」

### 【会議の経過】

議事（1）及び（2）について、上記資料に基づき、事務局より説明。  
意見交換の主な内容は以下のとおり。

#### （1）天草市まち・ひと・しごと創生の概要について

##### ○数値目標の設定について

- ・たとえば、「新しいひとの流れをつくる」という基本目標だと、転入者数等の増減を数値目標として設定するとしてある。その目標数値の設定が現実的、かつ、実現可能なものなるためにも、外から天草市に來られた人が「いつ、どこから來たか」等々調べることは可能なのか。

（事務局）国が、各地域が分析できるシステムを構築したところで、それを活用すれば分析可能になると思われる。ただ、そのシステムの中身の説明がようやく今月なされるところである。また、並行して「経済の流れ」の分析に実施予定。分析結果等については、今後、創生本部にご報告させていただく。

##### ○政策を打ち出すスピード感、住民の意見の吸い上げの仕組み

- ・全国どこでも似たような政策を打ち出してくるのだから、いかに良い政策をいかに早く打ち出せるか、スピード感が重要である。そのためにも、「ふれあい座談会」を早い時期にやるとかして、市民の意見を取り入れていくべきでは。その際、住民からの意見を吸い上げ方が課題だ。

- ・ 「住民の意見の吸い上げ」とは、たとえば「ふれあい座談会」で出た意見を職員が再度聞きに行く、そしてそれを政策に反映させるという流れ。その流れを作り、住民から意見を聞き出すには支所長の頑張りが重要だと思う。

## (2) あまくさ創生実践会議の設置について

### ○あまくさ創生実践会議（案）について

- ・ メンバーを集めて意見を聞く、というスタイルでは従来と変わらない。各分野から参加いただくメンバーには、事前に各分野の課題抽出から対策まで考えてきてもらったうえで議論しなければ新しい意見はでないのでは。
- ・ 会議のメンバー構成は今のままでいいと思うが、審議するための意見をどう出させるか、どう集めるかに工夫必要。会議を構成する26の団体にもきちんと動いてもらう仕組みづくりをしなければならないと思う。  
(事務局) いろんな分野からいろんな意見を出してもらいながら進めていくようにしていきたいと思う。

### ○知識から知恵に～新たな視点をもつ～

- ・ 各部局で、職員がどんな考えを持っているか上げてほしい。各係、若手も含めて意見を出させ、それを集約するものいい手ではないか。
- ・ これまで県庁等に派遣された職員を集めて提案させてみるのもいいのでは。

### 最後に

- ・ この戦略策定は短期の作業だが、影響は長期に及ぶ。各地域の特性にあわせていいものをきちっと作り上げていこう。

(以上)